

「ホワイト物流」推進運動

持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言

企業・組合名	役職	氏名	所在地	主たる事業	ホームページ
全農物流株式会社	代表取締役社長	塩田 弘幸	東京都	運輸業, 郵便業	https://www.zennoh-butstryu.co.jp/

当社は、「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、以下のように取り組むことを宣言します。

最終更新:	2025年8月26日
-------	------------

- (取組方針)
- ・事業活動に必要な物流の持続的・安定的な確保を経営課題として認識し、生産性の高い物流と働き方改革の実現に向け、取引先や物流事業者等の関係者との相互理解と協力のもとで、物流の改善に取り組めます。
- (法令遵守への配慮)
- ・法令違反が生じる恐れがある場合の契約内容や運送内容の見直しに適切に対応するなど、取引先の物流事業者が労働関係法令・貨物自動車運送事業関係法令を遵守できるよう、必要な配慮を行います。
- (契約内容の明確化・遵守)
- ・運送及び荷役、検品等の運送以外の役務に関する契約内容を明確化するとともに、取引先や物流事業者等の関係者の協力を得つつ、その遵守に努めます。

No.	分類番号		取組項目	取組内容
1	A	①	物流の改善提案と協力	・取引先や物流事業者から、荷待ち時間や運転者の手作業での荷卸しの削減、附帯作業の合理化等について要請があった場合は、真摯に協議に応じるとともに、自らも積極的に提案します。
2	A	③	パレット等の活用	・パレット等を活用し、荷役時間の削減等による物流合理化に取り組めます。
3	A	⑦	運転以外の作業部分の分離	・運送以外の役務の提供が含まれる場合には、役務の内容およびその対価を書面に明記のうえ契約を締結します。
4	A	⑬	発注量の平準化	・荷待ち時間を短縮するとともに、運行効率を向上させるため、月波動などの繁閑差の平準化に取り組めます。
5	D	①	荷役作業時の安全対策	・荷役作業を行う場合には、労働災害の発生を防止するため、安全な作業手順の明示、安全通路の確保、足場の設置等の対策に努めます。
6				
PR欄			当社は、全農グループの総合物流会社として、JAグループのネットワークを活用し、JA組合員が生産した米穀・青果物・酪農品や、生産するために必要な肥料・飼料など、農業に関連するあらゆる品物の集荷から保管・配送まで、高品質な物流を提供しています。 また、グループの枠を超えて、より多くのお客様に向けて「JAグループならではのスケールメリット」を活かした物流サービスを提供し、農業関連以外の貨物輸送や物流関連資材の商品販売などにも取り組んでいます。	